

税金に守られているもの

岡山県立岡山大安寺中等教育学校 3年 相川 煌

私の祖母は難病患者です。難病は治療方法が確立しておらず、長期の治療を必要とすることで大きな経済負担を強いられます。その中でも国が「難病の患者に対する医療等に関する法律」に基づいて医療費助成制度の対象としている難病は「指定難病」と呼ばれます。祖母はペースメーカーをつけているので、制度を受けることができ、受診などによる自己負担額は月額千円だけで済んでいます。これは税金によって賄われているおかげです。

私は税金について興味を持ち、調べてみました。使われている例として、学校や公園などの公共施設をつくるためや警察や救急、災害復興などなどと、数えきれないほどのものに使われているのだと知りました。そして同時に「私たちの生活はこんなにも税金によって支えられているんだな、税ってほんとに偉大だなぁ。」と感じました。

税金を払っているのに、サービスを受けているという実感がわからないと言う人たちもいます。脱税したり、支払いをしない人もいます。もし、国民にこのような人が増え、税金がなくなってしまうたらどうなるのか考えてみました。まず警察を例にして考えてみます。警察がいないと犯罪を防ぐ人がいなくなり、治安がどんどん悪くなってしまいます。次にこの状態で災害が起こったとします。すると、ケガ人の救助、壊れた建物の修理もできません。道路に亀裂が入っても直す人はいません。もし税金がなくなってしまうたらと考えるだけでゾッとします。

このように、私の生活や安全は税金によって守られています。普段当たり前のように受けているサポートも目には見えないけれど、税金のおかげなんだということを心にとめておきたいと思います。

世の中が沢山の税金で成りたっていて、納税が必要となっていますが、その一人一人の税金によって、誰かの助けになっています。そして自分自身も巡り巡って支えられています。実際に私の祖母も税金によって助けられています。私はまだ子供なので、税金に守られている側ですが、いつか大人になって日本を担っていけるよう、税をしっかりと納められるような仕事につける人になりたいです。そのためにも今は様々なことを学び、勉学にはげみたいと思います。

これから先も日本で暮らす人たちの安全と楽しい生活、そして笑顔を守りつづけるために、税金への感謝を忘れず、日々の有意義な生活を送りたいです。